

# 月刊 青戸

第4号

平成16年1月

編集 オフィス・オレンジ

## 歌って下さい! 酔って下さい! 「望郷哀歌」、第一興商のレーザーカラオケに収録!!



本人も大満足の  
二枚目ぶり(?)を是非ご覧下さい

「納得の仕上がりです!」と、青戸健、大満足!

青戸健の新作「望郷哀歌」が、今月、遂に第一興商のレーザーカラオケに収録されました。もちろん本人出演で、撮影は、都内新宿区と台東区で行われました。当日は朝からどしゃ降りの中、そんな中、スタッフは早朝6時に集合して撮影開始。気温も低く、決して良いコンディションではありません。青戸も満足の仕上がり。「ステージで芝居に取り組んでいるのも活きているんじゃないかな」と、今後の活動にますますの意欲を燃やしています。

### 11/30 仁志陽介20周年 追悼コンサート

昨年、志半ばで亡くなった仁志陽介さんの追悼コンサートが、仁志さんの地元・福井県の青雲閣で開催されました。青戸も青山ひろしさんや竹島宏さんと共に出演、「望郷哀歌」「男の流転」「津軽春秋」などオリジナルの他に仁志さんの「愛のブルース」をギター弾き語りを見せて歌い、故人の冥福を祈りました。



天国の仁志さんに届けと熱唱!

このコンサートは、仁志さんのデビュー20周年記念コンサートを開催しようという生

前の約束を守り、ファンの方が主催したもの。公演中、その代表の方はずっと泣いていたのですが、恐らく、青戸らと同じステージで歌う、仁志さんの姿が、その瞳には映っていたのでしょう。歌い手とファンの美しい関係に、青戸も胸に熱く沁みてくるものを感じたのでした。

### 12/18 忘年会 at 成田



この姿でスタート!

会場のマロウドインターナショナルホテルに230名のファンを集めて開催しました。ファンにはお馴染みの芝居に、ダンス・コーナーなども交えた盛り沢山の内容に、集まった方々も喜んで下さいました。「年が変わっても、積極的に色々な内容を採り入れて充実したショーを届けていきたいです」と10周年に向けて、ま

すます意欲旺盛な青戸健です。

### 12/13 Do演歌、Live in 橋本

青戸にとって2回目の出演となる、インターネット・サイト「Do演歌・com」主催のジョイント・コンサート。今回は相模原市での開催で、共演は原田ヒロシさん、千葉げん太さん、嶋三喜夫さん。そして特別に菅原都々子さんも出演されて、本当に学ぶところ得るところの多いステージでした。菅原さんのお元氣さに、青戸もまだまだ頑張らねばと気が引き締まる思いでした。



菅原さんの素敵だったこと!

# 前略 青戸です!

11月27日に故郷・青森の古牧温泉グランドホテル「瑞鳳殿」で新曲発表会を開きました。

会場には450名のお客様。地元とは言え、こんなにたくさんの方に集まっていただけなのは、後援者の皆さんの強力なご支援のおかげと、満席の会場を見渡しては、ありがたさにただただ頭が下がる想いでした。

司会の大元雅治さん、ゲストの歌川二三子さん、芝居で共演してくれた鈴かおるさんの協力を受けて、ステージは無事に進行。新曲



「望郷哀歌」「男の流転」もしんみりと、そして熱心に聴いていただけ、強い手応えを得て閉幕というところ



ろで、予想外の2度に渡るアンコール。胸が熱くなりました。夜間はすでに気温零下と寒い青森でしたが、しかし、故郷は実に温かいところなのでした。発表会の終了後は、後援会の方々やスタッフとの打ち上げ。生ガキ、馬刺し、白魚とテールを飾る地元の特産に舌鼓を打ちながら、自分も郷土を代表する存在になれるよう、一層の精進と飛躍を肝に銘じた夜でした。

## 青戸健的生活

その三 笑顔



どうです、なかなかいい笑顔でしょう?硬いか愛想が足りないと言われることの多い私ですが、本当に面白い時や楽しい時は、思いっきり笑います。でも、可笑しくもない時は「はい、笑ってー!」なんて言われても笑えねえもの。なーんて言っちゃいけないんだけど、難しいなあ…。

### 新年に向けて

平成16年、青戸健はデビュー10周年を迎えます。歌唱力を磨くのはもちろんですが、さらに体力をつけて、よりよい歌をうたい精力的に活動していきますので、応援よろしくをお願いします。

なお、1月25日には公式ホームページも開設予定です。そちらの方にもご期待下さい。今年も1年間ありがとうございました!

青戸 健

お詫び…先月号記事中の「大宮 ハナマサ」は「大宮 ハナマタ」の誤りでした。関係者および読者の皆様にお詫び致します。

青戸健に関するお問い合わせは…

**K・Yプロモーション** 0476-24-1258

直言エッセイ

## ちょっと、なまってるもの申す!



### 「ホッとした」

おぼんです。このエッセイを読んでいただく方から「あなたはいつも怒ったり、不満を感じたりしてばかりいるんじゃないの?」なんて思われているような気もしてきたので、今回は穏やかな話を書きます。

どっちも私のマネージャーの落し物なんです。一度はスーパーの店内で1万円札。そしてもう一回はタクシーストで財布ごと。ね、普通はもう返ってきませんよね? 私もマネージャーももちろん半分以上諦めていました。と

ところが、二度とも持ち主の元に戻ってきたんです!両方も青森での話で、私としては「やっぱり故郷はいい所だ、青森バンザイ!」って胸を張りたいところです。でも、親切な人、お金や落し物を拾ったら届けてくれる人は、全国にいます。たくさんいます。それには、まず自分が他人を裏切るわけにはいきません。そして、みんながお互いを信じているところから、ホッと暮らしては始まると思っています。